

第2類医薬品

五疳強心薬

生薬製剤 救心カプセルF

更年期や不安感、ストレスなどが原因で自律神経系が乱れると息切れやどろきが起こりやすくなります。また、加齢や過労などにより身体の諸機能が低下してくるとこのような症状がいつそう起こりやすくなります。

救心カプセルFは8種類の生薬の働きで、精神的な緊張や軽い運動などでハアハアと息が切れて息苦しくなったとき、心臓のドキドキを強く感じたときや脈が速くなったときなどにすぐれた効きめを現します。

さらに、身体がだるくて気力が出ないようなときや、暑さなどで頭がボーッとして意識が低下したり、立ちくらみやめまいがしたときの気づけにも効果を発揮します。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

【守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる】
本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の強心薬



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦または妊娠していると思われる人
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐

- 5～6日間服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

効 能

息切れ、どろき、気づけ

用法・用量

朝夕および就寝前に水またはお湯で服用すること

年 齢	1 回量	服用回数
大人(15 才以上)	1 カプセル	1 日 3 回
15 才未満	服用しないこと	

- カプセルをかんだり、中身を取り出したりせずに、そのまま服用すること
- カプセルの取り出し方：図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること(PTPシートを誤ってそのままのみ込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



成 分

《救心カプセルF》は帯赤白色（薄いピンク）のカプセル剤で、3カプセル中、次の成分を含みます。

成 分	分 量	主 な 作 用
センソ	5mg	心筋の収縮力を高め、血液循環をよくします。また、余分な水分を排泄し、心臓の働きを助けます。
ゴオウ	4mg	末梢循環を改善し、心臓の働きを助けます。
ロクジョウ末	5mg	強壮作用により気力を高めます。
ニンジン	25mg	
サフラン末	4.5mg	血液循環をよくします。
真珠	7.5mg	鎮静作用によりストレスなどからくる神経の緊張を和らげます。
リュウノウ	2.7mg	気力や意識の減退を回復させます。
動物胆	8mg	消化器の働きをよくし、他の成分の吸収を助けます。

添加物として部分アルファー化デンプン、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mg、カプセル本体（ゼラチン）にラウリル硫酸Naを含有します。

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること
- (3) 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願いいたします。

救心お客様相談室 ☎ 0120-935-810

[受付時間] 9:00～12:00、13:00～17:00（土、日、祝日、弊社休業日を除く）



救心製薬株式会社
東京都杉並区和田1-21-7
電話03-5385-3211（代表）

® 登録商標

どうき・息切れ・気つけ

生薬製剤 **救心カプセルF**

どうきや**息切れ**は、循環器系や呼吸器系の働きの低下をはじめ、過度の緊張やストレス、更年期や暑さ・寒さなどによる自律神経の乱れ、過労や睡眠不足、タバコやアルコールの飲み過ぎ、肥満、激しい運動など、さまざまな原因で現れてきます。

また、加齢などによって身体の諸機能が低下してくると、**どうき**や**息切れ**も起こりやすくなります。

さらに、こうした症状を放置しておく、さまざまな疾病発症の要因となり、しだいに生活の質の低下を引き起こすようになります。

救心カプセルFは8種の動植物生薬がそれぞれの特長を発揮し、血液循環を改善してこのような**どうき**や**息切れ**にすぐれた効きめを現します。

身体がだるくて気力が出ないときや、暑さなどで頭がボーッとして意識が低下したり、めまいや立ちくらみがしたときの**気つけ**にも**救心カプセルF**は効果を発揮します。

⚠ 使用上の注意

❌ **してはいけないこと**

〔守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる〕
本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の強心薬



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦または妊娠していると思われる人
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐

- 5～6日間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

効 能

どうき、息切れ、気つけ

●こんなときの**どうき・息切れ**に



●こんなときの**気つけ**に



(裏面につづく)

用法・用量

朝夕および就寝前に水またはお湯で服用すること

年 齢	1回量	服用回数
大人(15才以上)	1カプセル	1日3回
15才未満	服用しないこと	

- (1) カプセルをかんだり、中身を取り出したりせずに、そのまま服用すること
- (2) カプセルの取り出し方：図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押しして裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること(PTPシートを誤ってそのままのみ込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



成 分

《救心カプセルF》は帯赤白色(薄いピンク)のカプセル剤で、3カプセル中、次の成分を含みます。

成 分	分 量	主 な 作 用
センソ	5mg	心筋の収縮力を高め、血液循環をよくします。また、余分な水分を排泄し、心臓の働きを助けます。
ゴオウ	4mg	末梢循環を改善し、心臓の働きを助けます。
ロクジョウ末	5mg	強壮作用により気力を高めます。
ニンジン	25mg	
サフラン末	4.5mg	血液循環をよくします。
真珠	7.5mg	鎮静作用によりストレスなどからくる神経の緊張を和らげます。
リュウノウ	2.7mg	気力や意識の減退を回復させます。
動物胆	8mg	消化器の働きをよくし、他の成分の吸収を助けます。

添加物として部分アルファー化デンプン、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mg、カプセル本体(ゼラチン)にラウリル硫酸Naを含有します。

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること
- (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

◎心臓への負担を和らげるために

過度な飲食や肥満、喫煙習慣、急激な温度変化や夜ふかしは、心臓に負担をかけ、どうきや息切れの原因となります。



● 過度な飲食や肥満



● 喫煙習慣



● 急激な温度変化や夜ふかし

製品についてのお問い合わせは、下記をお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

電話：03-5385-3211(代表)

受付時間：9：00～17：00(土、日、祝日、弊社休業日を除く)



救心製薬株式会社
東京都杉並区和田1-21-7